

開成町における義務教育施設等の耐震化の取組みについて

学校施設は、子どもたちが1日の大半を過ごす活動の場であるだけでなく、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たす重要な役割を担っています。開成町ではこの重要性に鑑み、学校施設における耐震診断の実施やその結果に基づき早期に必要な対応を図ってきました。

開成町内の幼稚園、小学校、中学校では全ての施設で耐震化が終了し、文部科学省の基準を満たしています。

平成26年1月1日現在

施設名		耐震診断の実施	診断結果 (Is値)※	文部科学省基準(Is値0.7)未達の建物の対応等	耐震化
開成幼稚園		平成7年度実施済	0.44	平成8年度に耐震補強工事を実施済。	済
開成小学校	①B棟 (管理教室棟)	平成7年度実施済	0.59	平成7・8年度に耐震補強工事を実施済。	済
	②A棟 (低学年棟)		1.15		済
	③管理棟		1.05		済
	④屋内運動場		0.18	平成7・8年度に耐震補強工事を実施済。	済
	⑤C棟-1 (旧幼稚園園舎)	平成18年度実施済	0.33	簡易的な補強を実施(平成19年度)。 平成23年度に取り壊し。	建物なし
	⑥C棟-2 (旧幼稚園園舎)		0.58	簡易的な補強を実施(平成16年度)。 平成23年度に取り壊し。	建物なし
開成南小学校		平成22年度開校。 新しい耐震基準で建築しているため問題はありません。			済
文命中学校	①一般教室棟	平成7年度実施済	0.34	平成8・9年度に耐震補強工事を実施済。	済
	②特別教室棟		0.62	平成8・9年度に耐震補強工事を実施済。	済
	③屋内運動場		0.99		済

※ 「Is値」とは法令で定められた構造耐震指標のことであり、昭和56年以前に建築された建物の耐震性の判断基準となるものです。上表中の「診断結果 (Is値)」は、各棟を構造区分ごとに細分化した診断結果のうち、最小の値を掲載しています。

Is値の目安(国土交通省の平成18年1月25日告示)

- 0.3未満・・・地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 - 0.3以上0.6未満・・・地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 - 0.6以上・・・地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
- さらに、文部科学省基準では0.7以上を確保するよう求められています。